

笠松みなと公園における社会実験の実施について

1. 社会実験の趣旨など

(1)コンセプト

- ①木曾川の豊かさを感じながら、町民への新たな癒し・広域の利用者への楽しみを提供し、「笠松みなと公園」ひいては笠松町の川づくり・まちづくりの差別化や高付加価値化につなげる。
- ②民間活力を活用した官民連携による事業推進のための基盤形成につなげる。

(2)目的

- ①コンセプト実現のためのポテンシャルの把握
集客結果や話題性から需要を予測する。
- ②事業内容の具体化に向けた証左の獲得
収益性の検証、調整事項や各種課題の洗い出し、アクティビティ等の事業性の検証・コンテンツの絞り込み等を行い、かつ事業実施や運営をしていく上での課題を見つける。
- ③事業開始後における事業者主体の運営方式への移行の下地づくり
笠松町民や組織・企業等が様々な形態で本事業に参画する方向性を探る。
- ④事業（「リバーサイドタウンかさまつ計画」令和構想）全体像の関係者間での共有
複数の事業者が複合的に関連し合いながら事業を進めていくイメージを共有する。

(3)方針

- ①第1次（R4.3～）
R2年度の調査で当事業に関心の高かった企業や団体から社会実験実施者として参加を得るかたちで、クローズ型として社会実験を実施する方針とする。
⇒昨年度に関心が高かった事業者と協力者の参加、あるいは本協議会の関係者等の実験参加も可能とする。
- ②第2次（R4年度～）
社会実験参加の希望者を一般公募し、オープン型で社会実験実施者の参加を得ることで、笠松みなと公園の差別化・高付加価値化の要素を探る方針とする。
⇒新規の社会実験実施者の参加だけでなく、初年度の社会実験実施者の再参加も可能とする。
- ③事業開始後
事業開始後に、当初想定していなかった事業内容について社会実験が必要となった場合は、新規社会実験として実施する方針とする。
⇒事業実施者自身や一般からの希望者の社会実験参加を得る（常時募集）。

2. 第1次社会実験の概要

(1)実施内容

飲食系、アクティビティ系を中心とし、基本的には自由とする。
イルミネーション設置のように、利用者料金が発生しない内容でも構わない。

(2)検証

①内容

基本的な事項としては下記の点が挙げられるが、社会実験実施者が適宜設定する。

また、社会実験実施者同士での相談会の有効性や実験協力者との円滑な調整など、実施内容自体とは別の視点から、事業性を検証することもあり得る。

ア. 集客力

- ・利用者数、居住地・年齢・性別等の属性、ファミリー・友人同士等の形態、時期・曜日・時間帯の動向等

イ. 収益性

- ・直接経費、人件費、売上・客単価、実施時期やインターバル等

ウ. 情報発信

- ・集客・収益との関係性（情報発信への反応や拡散等）
- ・方法による違い

エ. 利用者の反応

- ・サービスへの満足度、リピート性、感想など

オ. 事業者としての満足度

- ・収益性の見込み、収益ではなくPRの投資、活動の一つとして経験など、社会実験を実施したことによる今後の事業者としての可能性・方向性、あるいは事業者自身の楽しさなど

カ. 課題

- ・集客力や収益性を上げるために必要な内容や改善事項など
- ・情報発信方法に必要な工夫
- ・他の実施者や協力者との事前の相談や協議のあり方

キ. その他

②方法

ア. 収支計算

イ. アンケート ⇒ 資料3参照

ウ. SNS等の情報発信への反応

エ. 利用者との会話

オ. その他

(2)開催時期など

- 令和4年3月
⇒社会実験の実施が単発（単日）でも継続（連日）でも可とする
- 平日・休日の実施についても社会実験実施者が計画する
- 時間帯は基本的に公園利用時間に準ずるが、早朝や夜間に実証したい内容があれば、町と協議して決める（安全管理等の配慮は一層必要）
- 夜間に実施する場合は、公園入口の錠の管理方法などについて町と調整を図る。

通常の公園利用時間帯	
11月～2月	⇒8:45～17:00
③・4・9・10月	⇒8:45～18:00
5～8月	⇒8:45～19:00

(3) 実施場所

- 実施場所は、「笠松みなと公園」内とし、具体的な場所は、実験内容と照らし社会実験実施者の希望・計画に沿うものとし、他の社会実験実施者の計画と調整する。
- 時期・曜日・時間帯等による場所の変更も、他の社会実験実施者や町の行事と重複しなければ問題ないものとする。

(4) 町からの支援

①使用料

占用料、光熱費等は、社会実験期間中は無料とする。

②使用可能施設

上水道、電源、トイレ、駐車場（公園、休庁日の関係者用駐車場）は使用可能とする。

その他、管理棟（あずまや）と併設倉庫も使用可能とする。

ただし、他の社会実験実施者や町の行事と重複する場合は、調整する。

③情報発信

情報発信自体も実験の一環として、社会実験実施者が行う。

ただし、「広報かさまつ」での案内、町HP・チラシ・WEBサイト構築等によるPRの実施も併せて予定する。

3. 第1次社会実験計画（案）

(1)実施内容

現時点での社会実験の計画内容の概要を下表に示す。詳細については、次ページの表に一覧する。事務的事項も含め、実施者と事務局間で詳細な内容を調整中である。

表-1 社会実験の計画概要

実施内容	社会実験実施者	開催日等概要	備考
朝カフェ	かさまつバザール	平日・週末、朝（火・水休）	管理棟が仮店舗、メニュー・料金等は500円ワンコインで検討中
焚火カフェ	オアシスパーク	平日（金）・週末午後～夜	燃え殻の処理等が課題
乗馬体験	ホースランド	週末、日中	馬運車の手配が課題
SUP体験	SUP同好会	週末、日中	今回は水が冷たいため疑似体験Eボート借用
みなとキッチン	笠松町プロモーション協会	平日・週末	キッチンカー・露店による出店1回当たり数台（0台の日もある）
スタンプラリー	大日C	週末、日中	今後、オアシスパークの「謎解き」やホームメックスFDGとの連携を見据える

(2)実施期間

令和4年3月12日（土）～27日（日）の16日間を予定している。

(3)情報発信

事務局側：「広報かさまつ」3月号（3/1発行）、町ホームページ、社会実験用ホームページ、フライヤーの配布等

実施者側：ホームページ、SNS等

(4)運営体について

社会実験実施者同士による運営体（実行委員会に類する組織）は、現在のところ組織されていないが、その基盤としてコミュニケーションを図れる機会をもったり、SNSで情報交換したりすることができないか検討中である。

(5)留意事項

新型コロナウイルスの状況によっては社会実験実施を中止にすることがある。この点については、各社会実験実施者の了承を得ている。

表-2 社会実験計画一覧 (2/17現在)

実験仮称	笠松朝カフェ	焚火カフェ	笠松乗馬体験	笠松SUP体験	みなとキッチン	笠松謎解きスタンプラリーなど	フォローアップ調査
社会実験実施者	かさまつバザール	オアシスパーク	ホースランド	笠松 SUP 同好会	笠松町プロモーション協会	大日C	大日C
代表者	柚木氏	松永氏	大坪氏	塚本氏	市川氏	—	—
実施内容	天端の管理棟を拠点(店舗)とした、午前中営業のカフェの出店。平日・休日に、コーヒーと軽食等を販売。非予約。	環境楽園で R3 年 12 月まで実施されていた「焚火カフェ」を、笠松みなと公園で平日・休日の夜間に実施する。非予約。コーヒーは2種から選択し、ミル挽も体験。ココア。受付で注文と支払い。串による焼マシュマロ2個付きとする。	ポニー2頭による有料乗馬体験を実施する。非予約。	笠松みなと公園で、陸上での SUP 疑似体験 笠松みなと公園前(右岸側)の木曾川で、Eポートに乗り実演学習と状況によっては自然観察(木曾川の良さを知ってもらう)	キッチンカーと露店(最大4店舗/日)で出店し、飲食のサービス提供を行う。13店参加。非予約。※出店が無い日もある ・ホットサンド、唐揚げ、ローストビーフ丼、ホットドッグ、ハンバーガー、コーヒー、クッキー、ベビーカステラ、オムライス、石窯ピザ、クレープまたは団子、スープ、カレー等	将来的には、オアシスパークの謎解き、ホームメックス FDG との今後の連携を見据えながら、かわとまちを連結し、通年開催で楽しめるオリジナルコンテンツを社会実験を踏まえて作成する。まずは、公園内限定で試行する。	実験前・中・後の公園利用の概況を把握する。タイムラプスカメラで時間帯別の利用者数、利用者属性の変化を把握する。
目的	笠松みなと公園の日常的な利用に彩りを添えることへの需要・ニーズの確認	河川エリアの夜間利用の可能性を探る	乗馬に対する需要・ニーズの再確認 セラピーはこの段階では目的としない	他地域でも人気のある SUP の笠松でのポテンシャルの確認	笠松みなと公園の日常的な利用に彩りを添えることへの需要・ニーズの確認(朝カフェと同様)	公園利用の付加価値化・周遊的利用促進など 将来的には、川辺と町内資源の連結・かわとまちの賑わいの連結	社会実験による利用者の変化を効果として考察する。
検証内容	公園の午前中の利用者による飲食サービスの需要・ニーズの確認、客層の把握、若者など新規客層の誘客効果の確認、運営の円滑性	現状の利用時間帯を拡張し、飲食サービスの需要・ニーズの確認、客層の把握、運営の円滑性	有料による利用状況の把握(利用者数、居住地・年齢層等)、運営の円滑性	寒い時期の SUP の需要確認、必要設備の確認、運営の円滑性	現況で提供されていない飲食サービスを日中に実施することにより、需要を把握する(日常利用者による需要)、運営の円滑性	コンテンツとしての満足度 公園内の周遊効果、運営の円滑性	タイムラプスカメラを公園内の2~3箇所に設置し、実験前後の公園利用状況を撮影する。
RST※との関連性	中核施設に設置が検討されている商業機能について、まず三角地以外で需要・ニーズを確認	河川エリアの商業利用の拡大イメージ(夜間利用)	外乗やホースセラピー実施に向けた感触の確認	水辺利用の推進	中核施設に設置が検討されている商業機能について、まず三角地以外で需要・ニーズを確認	—	—
実施体制	バザール関係者スタッフ 1~2名	オアシスパークスタッフ 3名程度	ホースランドスタッフとボランティア(昨年度は全4名)	同好会スタッフ 5名 説明者兼Eポート操舵、安全管理者、SUP 実演者、(ネイチャーガイド) 安全管理:救命胴衣、AED(管理棟備付)	プロモーション協会・関係者(マルシェ等)数名 (日程により異なる)	大日スタッフ 町内関係者(チェックポイント)	大日スタッフ (適宜作動確認とデータ回収)
エリア	堤防天端の管理棟を店舗として活用	トンボ広場	トンボ広場(昨年度と同じ)	笠松みなと公園芝生 笠松みなと公園前の木曾川水面・右岸側半分以内・国交省設置の船着場(親水護岸)付近	堤防天端(車道へのPR) トンボ広場	笠松みなと公園内	トンボ広場、遊具近辺~芝生広場 堤防天端の通行状況
ターゲット	朝の散歩の高齢者、サイクリスト、若者全般	若者全般(町内、愛知県北部)、公園利用者全般	児童(ファミリー)	ファミリー層	公園利用者全般	公園利用者全般	利用者全般、通行者全般
客席数等	テイクアウトが基本 管理棟休憩スペース等	5卓 24席程度	1日に2回実施 各15名前後・計30名程度	1回6名まで 1日2回~3回実施	テイクアウトが基本	—	—
料金	500円のセットメニュー中心	500円(コーヒー1杯またはココア+焼マシュマロ2個)等	500円/回	500~1000円程度を想定	メニューによってそれぞれ異なる	無料 or 100円程度(保険)	—
予約方法	予約無しの即時利用	予約無しの即時利用	予約無しの即時利用	予約無しの即時利用	予約無しの即時利用	当日受付/web開催	—
備品	調理器具、食器、テーブル・椅子、メニュー表、ゴミ箱・袋	焚火台、ミル、ドリッパー、フィルター、ポット、ポウル(湯捨て用)、食器、串、メニュー表、ミル挽用台、焚火台、椅子、ランタン、薪、火除け布、消火器、ゴミ箱・袋 他	馬運車、安全器具、カラーコーン、コーンバ、受付用机、筆記具等	SUP 用ボート・パドル、拡声器、Eポート、救命胴衣、ヘルメット、AED、ホイッスル	調理器具、食器、メニュー表、ゴミ箱・袋、露店の場合はテント等	WEB アプリシステム チェックポイント目印(QRコード等) 必要に応じて印刷物	タイムラプスカメラ(防水)、固定器具、調査プレート等
実施期間等	3/12(土)~3/27(日) 火・水は休	3/12(土)13(日)、18(金)~21(月祝)、25(金)~27(日)	3/12(土)、19(土)	3/13(日)20(日)	計画中(各出店者確認中)	3月中下旬2週間(平日・休日)	3月の約3週間(実験前後、平日・休日)
実施時間帯	6:30~9:00	14:00~20:00	11:00~14:00で2回	10:00~14:00(要調整)	計画中	常時	24時間/日

※RST：リパーサイドタウンかさまつ計画

表-2 社会実験計画一覧 (2/17現在)

(2/2)

実験仮称	笠松朝カフェ	焚火カフェ	笠松乗馬体験	笠松SUP体験	みなとキッチン	笠松謎解きスタンプラリーなど	フォローアップ調査
町への協力希望	管理棟の使用・水・トイレ・電源使用・PR	トイレ・水の使用・火の使用・電源の使用・PR	馬運者の手配、受付テーブル・コーン・コーンバーの借用	Eポート1艇とライフジャケット・AEDの借用(安全管理用)	(管理棟)の電源の使用、スタッフのトイレ利用	公園内での実施許可	カメラの設置許可
課題	管理棟の使用可否・水の飲用可否、客用ベンチ・テーブルの設置、料金設定、BGM可否	火の使用(炉内)、資機材保管、人員の確保、料金設定、食器洗浄(水量と排水、紙食器化)、BGM可否	馬への負担軽減化のため連日は不可、公園までの馬運(歩行は不可)	漁協の了承 工事による利用可否	キッチンカーの台数、メニューの内容・料金等の早急な設定、朝カフェ・焚火カフェとの棲み分け	謎解きの作成等	カメラ設置の許可が得られるか カメラ盗難 既設カメラの映像の借用の可否
調整事項	実施内容の検討、町建設課の許可(管理棟の特定使用、営業、管理棟の休憩スペースの客席化等)、天端での営業について木曾上の許可、他の使用者との日程調整	実施内容の検討、木曾上・町建設課の実施許可、火の使用許可、消防署対応、夜間の駐車場開錠(建設課、地元)、BGM	実施(営業)許可、競馬場に馬運車の借用申請(町より)	実施内容の検討、実施同意、漁協への報告・了承	実施内容の検討、実施(営業)許可、調理の場合の保健所への届出	—	カメラ設置許可(建設課、木曾上)
備考		3月までは環境楽園で「焚火カフェ」を実施せず機材が空き状態となるため、それを流用したかたちでの実施。	料金設定は昨年度実験時のアンケート回答に基づいている。ポニーのため、大人の乗馬は不可。 ヘルメットは社会実験実施者で準備可能	必要に応じ漁師の方に実施報告。	協会のテントを設置することがあり得る。		
共通:コロナ対策、光熱・水等の使用料や事業者による棲み分け、実施の周知(時間帯、夜間照明、BGM等も含め)							
参考写真	 堤防拡幅部天端上の管理棟	 実施候補エリア(トンボ広場)	 馬運車	 実施候補地付近(陸上:芝生広場)	 実施候補エリア(堤防天端)	 スタンプラリー等の例(FDG)	 カメラ設置候補地(駐車場方面等)
	 管理棟の休憩スペース	 環境楽園の「焚火カフェ」の会場	 実験状況例(R2年度実施時)	 同上の管理用の印	 実施候補エリア(奥:トンボ広場、手前:遊具広場付近)	 スタンプラリー等の例	 カメラ設置候補地(堤防天端方面)

表-4 社会実験のスケジュール計画

実験仮称	事業者名	内容	1月			2月			3月																																					
			上	中	下	上	中	下	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							
笠松朝カフェ	かさまつバザール	企画調整																																												
		対外調整																																												
		備品手配																																												
		PR																																												
		実施																																												
		検証																																												
焚火カフェ	オアシスパーク	企画調整																																												
		対外調整																																												
		備品手配																																												
		PR																																												
		実施																																												
		検証																																												
笠松乗馬体験	ホースランド	企画調整																																												
		対外調整																																												
		備品手配																																												
		PR																																												
		実施																																												
		検証																																												
笠松SUP体験	笠松SUP同好会	企画調整																																												
		対外調整																																												
		備品手配																																												
		PR																																												
		実施																																												
		検証																																												
みなとキッチン	プロモーション協会	企画調整																																												
		対外調整																																												
		備品手配																																												
		PR																																												
		実施																																												
		検証																																												
みなと公園スタンプラリー	大日C	企画調整																																												
		対外調整																																												
		備品手配																																												
		PR																																												
		実施																																												
公園利用実態調査	大日C	撮影調査																																												

社会実験実施期間 3/12~3/27 (16日間)

HP開設・SNS発信開始

下見

(出店数)